

# どうして日本の国力は 30年以上も低下し続けているのか？

第一生命経済研究所首席エコノミスト  
永濱利廣ながはま としひろ

- \*「日本病」とは何か
- \*「安い日本」の現実
- \*長期停滞の副作用
- \*消費に向かわず累増する金融資産
- \*格差は拡大していない
- \*企業まで貯蓄超過の背景
- \*不可欠な労働市場の改革
- \*財政健全化最優先はマイナース
- \*まだまだ日本は需要不足
- \*国債償還60年ルールについて



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

本日は、第一生命経済研究所の永濱さんにおいでいただきました。

もう何回かおいでいただいておりますが、1971年のお生まれで、早稲田大学の理工学部をご卒業後、第一生命に入られ、研究員をされておられます。今日は、日本の国力についてのお話で、皆さんもたいへん期待をされて、お聞きになりたいという方がおられるわけですが、逆になりますと、逆に言えますが、こういうお話になりますと、逆に言えば、日本がいかに駄目になったかというお話なので、今日はその処方箋が聞けるとたいへんありがたいというふうに考えております。それでは永濱さん、よろしくお願いいたします。（拍手）

「日本病」とは何か

永濱 皆さんこんにちは。ただいまご紹介にあずかりました、第一生命経済研究所の永濱でございます。本日はたいへんご多忙の中、ご参加いただきまして、誠にありがとうございます。今回私がお話しさせていただく内容は、お手元には資料が配られていると思うんですけども、こちらにあるとおり、「どうして日本の国力は30年以上も低下し続けているのか？」というテーマでお話をさせていただきます。

そもそもこの話をさせていただくきっかけというのは、実は私はこの内容で今年の5月ぐらいに『日本病』という本を出させていただきました。これが思いのほか売れていまして、今、